

近恋

代

小

説

す

る

文京区立森鷗外記念館コレクション展

2016 7/1 ↓ 9/25
Fri Sun

文京区立森鷗外記念館 展示室2

開館時間——10時～18時（最終入館は17時30分）

※毎週金曜日は20時まで開館（最終入館は19時30分）

※会期中の休館日：7月26日〔火〕、8月9日〔火〕

観覧料——一般300円（20名以上の団体は240円）

※中学生以下無料、障がい者手帳ご提示の方と同伴者1名まで無料

※文京ふるさと歴史館入館券、パンフレット（押印入）、友の会会員証ご提示で2割引き

※その他各種割引がございます。

詳細は記念館HPをご覧ください。

『舞姫』自筆草稿期間限定公開！



鷗外自筆草稿『舞姫』
学校法人跡見学園所蔵

協力：学校法人跡見学園、大阪樟蔭女子大学、森鷗外記念会

og 小 文京区立
森鷗外記念館
Mori Ogai Memorial Museum

Part 1——「告白」する青年たち

7月1日〔金〕—8月8日〔日〕

Part 2——二人を引き裂くもの

8月10日〔水〕—9月25日〔日〕

舞姫

Maihime

舞姫

恋する近代小説

2016年
7月1日[金]—9月25日[日]

Part 1—「告白」する青年たち 7月1日[金]—8月8日[月]
Part 2—二人を引き裂くもの 8月10日[水]—9月25日[日]

※会期中の休館日 7月26日[火]、8月9日[火]

10時～18時 (最終入館は17時30分)

※毎週金曜日は20時まで閉館(最終入館は19時30分)
会場：文京区立森鷗外記念館 展示室2
観覧料：一般300円(20名以上の団体：240円)

※中学生以下無料、障がい者手帳ご提示の方で同伴者1名まで無料 ※文京ふるさと歴史館入館券、パンフレット(押印入)、友の会会員証ご提示で2割引き ※その他各種割引がございます。詳細は記念館HPをご覧ください。

◎ギャラリートーク

展示室2にて当館学芸員が展示解説を行います。

2016年7月13日、27日、8月17日、31日、9月14日

いずれも水曜日14時～(30分程度)

申込不要(展示観覧券が必要です)

◎展示関連講演会

「舞姫草彙をめぐって」

講師：山崎一穎氏(跡見学園理事長、森鷗外記念会顧問)

日時：8月7日[日]14時～15時30分

会場：文京区立森鷗外記念館 2階講座室

定員：50名(事前申込制)

料金：無料 申込締切：7月22日[金]必着

申込方法：往復はがき→往信に「8月7日講演会」・氏名(ふりがな)・住所・電話番号を、返信用には、住所・氏名を明記の上、〒113-0022 東京都文京区千駄木 1-23-4 文京区立森鷗外記念館「展示関連講演会」受付係までご応募ください。

Eメール→件名に「8月7日講演会」、本文に氏名(ふりがな)・電話番号・Eメールを明記の上、bmk-event@moriogai-kinenkan.jp にご応募ください。

※申し込みは、1通につき1名様(お一人様1通まで)、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。※ご不明な点等ございましたら、文京区立森鷗外記念館にお問い合わせください。

◎特別企画

「鷗外と『舞姫』の世界」

鷗外ゆかりの地である水月ホテル鷗外荘と連携して『舞姫』を堪能する特別企画を開催!加賀乙彦氏による「舞姫の間」での講演のほか、同ホテルでの食事を実施します。

講師：加賀乙彦氏(作家、文京区立森鷗外記念館名誉館長)

日時：9月9日[金]12時～15時

会場：水月ホテル鷗外荘(東京都台東区池之端 3-3-21)

定員：40名(事前申込制)

料金：7,000円(食事代含)

※イベント詳細、申込方法などについては、当館HPをご覧ください。

◎同時開催 ミニ企画展示

文の京ゆかりの文化人顕彰事業関連

「夏目漱石—「うつくしい本」への探求—」

※コレクション展開催中の、展示室1でのコーナー展示です。通常観覧券でコレクション展とともにご覧いただけます。

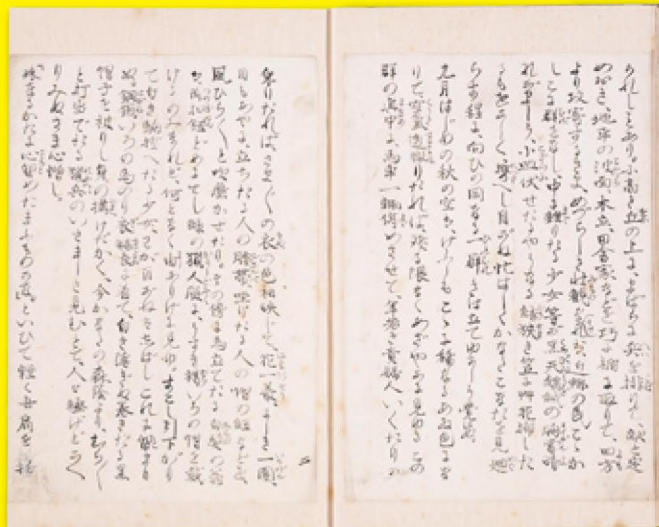
明

治23(1890)年に発表された小説『舞姫』は、鷗外のもっとも代表的な作品です。主人公・太田豊太郎が、ベルリンで出会った少女エリスとの恋愛や、自身の進退に悩む姿が描かれています。物語は鷗外自身の留学体験と重ね合わされ、今日でも大きな関心を持たれています。

「恋愛小説」は現在では確立されたジャンルですが、「恋愛」という言葉が使われるようになり、文学作品に登場し始めたのは、明治に入ってからのことでした。展覧会では『舞姫』発表以前と以後に分け、「恋愛」をキーワードに置いて近代小説の誕生とその開花を追います。

パート1では、坪内逍遙『当世書生気質』や『葉亭四迷』『浮雲』などに見られる恋愛と、その直後に現れた『舞姫』の意義を探ります。パート2では、尾崎紅葉『金色夜叉』、夏目漱石『虞美人草』など明治中後期の作品に語られる恋愛、そして『青年』『雁』などの鷗外作品の中の恋愛の変化を紹介いたします。

パート1、パート2、二つの展示を通して『舞姫』という作品が近代文学史の中でどのような役割を果たしたのか、当時の評価などに触れながらその魅力に迫ります。また会期中の8月1日から9月11日までの期間、学校法人跡見学園所蔵の自筆草稿『舞姫』と、大阪樟蔭女子大学所蔵の自筆原稿『文づかひ』を特別公開します(期間中、2度展示箇所が変わります)。



「文づかひ」自筆原稿期間限定公開!



2



3



4

1. 鷗外自筆原稿『文づかひ』明治23年 大阪樟蔭女子大学所蔵
2. 「新著百種」1号 明治22年
3. 二葉亭四迷『浮雲』挿絵(月岡芳年画)『都の花』4巻18号 明治22年
4. 小杉天外『魔風恋風』後編 明治37年 春陽堂



◎電車

東京メトロ千代田線「千駄木」駅1番出口徒歩5分
東京メトロ南北線「本駒込」駅1番出口徒歩10分
都営三田線「白山」駅A3番出口徒歩15分

◎バス

都営バス草63番系統「千駄木一丁目」下車徒歩1分
都営バス上58番系統「団子坂下」下車徒歩5分
B-ぐる千駄木・駒込ルート
「18 特別養護老人ホーム千駄木の郷」下車徒歩5分

※一般の駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。



文京区立
森鷗外記念館
Mori Ogai Memorial Museum

〒113-0022 東京都文京区千駄木 1-23-4
TEL. 03-3824-5511
URL. <http://moriogai-kinenkan.jp>